

公開シンポジウムのご案内

「戦間期国際秩序の形成とその変容—地域間比較と日本—」

主催：公益財団法人日本国際問題研究所、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター

日本国際問題研究所では、北海道大学スラブ・ユーラシア研究センターとの共催で「戦間期国際秩序の形成とその変容—地域間比較と日本」と題するシンポジウムを開催する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

当研究所では、「国際共同研究支援事業（領土・主権・歴史調査研究支援事業）」の試みの一つとして、戦間期国際秩序の形成において日本が果たした役割について、同時代の各国の視点から検証を進めています。第一次世界大戦後の国際秩序はパリ講和会議のみで決定されたわけではなく、その後1920年代を通じて、各地域をめぐる国際会議や交渉の積み重ねにより形成されていきました。本シンポジウムではヨーロッパ、中近東、東アジアなどの地域における秩序の変遷を比較検討することで、当時の日本がルールメイカーとして果たした役割を明らかにします。また、そのように形成された地域秩序、その上に成り立つ国際秩序がその後いかに動揺し、変容し、そして崩壊していったのかという点を併せて検討することで、本シンポジウムでは戦間期国際秩序の形成と変容に日本がどのように関わったのか、複眼的に捉え直すことを試みます。

本シンポジウムは会場（札幌）とオンライン（Zoom）での同時配信のハイブリッド方式で開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

記

- 日時：2024年1月20日（土）13:30-18:50（日本時間）（受付開始：13:00～）
- 会場：TKP ガーデンシティ PREMIUM 札幌大通5F（Zoomの同時配信あり）
住所：北海道札幌市中央区南1条西1-8-2 高桑ビル

3. 登壇者（五十音順）

第一セッション「第一次世界大戦後の国際秩序の形成と地域秩序」

モデレーター：細谷 雄一（慶應義塾大学教授／日本国際問題研究所上席客員研究員）

スピーカー：赤川 尚平（日本国際問題研究所研究員）

樋口 真魚（成蹊大学准教授）

藤本 健太朗（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター非常勤研究員）

藤山 一樹（大阪大学講師）

コメンテーター：ヤロスラフ・シュラトフ（早稲田大学教授）

前田 亮介（北海道大学准教授）

第二セッション「戦間期国際秩序の動揺」

モデレーター：宇山 智彦（北海道大学スラブ・ユーラシア研究センター教授）

スピーカー：笠原 孝太（日本大学助教）

河西 陽平（中曽根康弘世界平和研究所研究助手）

高柳 峻秀（東京大学大学院博士後期課程）

花田 智之（防衛省防衛研究所主任研究官）



コメンテーター：麻田 雅文（岩手大学准教授）
北村 嘉恵（北海道大学准教授）

総合討論

ディスカッサント：川島 真（東京大学教授）
細谷 雄一（慶應義塾大学教授／日本国際問題研究所上席客員研究員）

4. 言語：日本語
5. 参加費：無料
6. 申し込み登録：参加をご希望の方は下記 URL または QR コードからご登録ください。
<https://event.event-planner.net/#/bundlesite/tbegrdp7>



7. お問い合わせ先：
日本国際問題研究所 札幌シンポジウム事務局
研究員：谷 一巳 / 研究助手：富田 優子
TEL：03-3503-7794 / FAX：03-3503-7411 / E-mail：240120sympo@jia.or.jp

以 上